

企画展示 館内では、当財団の研究活動の紹介や、テーマごとに蔵書を紹介する企画展示を行っています。ご来館いただいた際には是非ご覧ください。

10月より
展示開始

エントランスギャラリー

■ 温泉地の環境対策を考える

温泉まちづくり研究会は、温泉地が抱える共通の課題について解決の方向性を探り、各地の温泉地の活性化に資することを目指す研究会です。「温泉地の環境対策」を通じて持続する温泉地を目指す取り組みの一環として、今回は、「温泉地の環境対策を考える」をテーマに企画展示を行います。黒川温泉の取り組み、デンマーク・ボーンホルム島の取り組み、そして研究会に所属する7温泉地の取り組みの概要を紹介しています。



貴重書ギャラリー

■ 温泉まちづくり研究会 ～7つの温泉の歴史を辿って～

温泉まちづくり研究会は、現在7つの温泉地(北海道阿寒湖温泉、群馬県草津温泉、三重県鳥羽温泉郷、兵庫県有馬温泉、愛媛県道後温泉、大分県由布院温泉、熊本県黒川温泉)を会員としています。会員温泉地の関係者や行政担当者、有識者などが集まり自由闊達に議論し、研究会で得られた情報や知見は「提言」等にまとめ全国に広く発信しています。

今回の企画展示では、これら7つの温泉地の歴史を当館が所蔵する蔵書から選定してご案内するとともに、これまで研究成果として報告してきた研究会の取り組み内容などについてもご紹介いたします。

ライブラリープラザ

■ 地域の観光紹介 長崎の五島

九州最西端に位置する五島列島は、約150に及ぶ島々からなる長崎県を代表する魅力的な観光地です。航空便で五島福江空港と長崎および福岡空港間は所要30～40分、船便は長崎港からジェットfoilやフェリーで各地と結ばれています。

コバルトブルーの海と白い砂浜に代表される美しい自然景観や、遣唐使、倭寇、教会などの潜伏キリシタン関連施設といった多くの歴史・文化遺産に恵まれているとともに、「かっつぽ」(*)に代表される海の幸、五島牛や五島うどん、かんころ餅など、豊かな食材にも恵まれています。最近では、テレビドラマの舞台となり、メディアでも多く紹介されるなど、様々なアクティビティも楽しめる人気の観光地です。

行楽シーズンに入る「長崎の五島」をテーマに、豊かな自然や歴史遺産を当館の蔵書とともに紹介する企画展示を行います。是非ご来館ください。

*「かっつぽ」とはハコフグの味噌焼きのことで、五島の郷土料理です。



協力: 五島市役所東京事務所
長崎県東京事務所

五島の島たび: <https://goto.nagasaki-tabinet.com/>
ながさき旅ネット: <https://www.nagasaki-tabinet.com/>

たびとしよ

— 旅の図書館 News Letter —



Vol. 25

2023年10月号



Information

「旅の図書館」がある東京都港区には様々な特色を持つ魅力的な専門図書館が数多くあります。当コーナーではそれらの図書館をシリーズで紹介していきます。

ゲーテ・インスティトゥート東京

ゲーテ・インスティトゥート東京はドイツの文化機関です。語学講座の他、上映会やコンサートなど様々な文化プログラムを開催しています。図書館では今のドイツの文化を伝えるというコンセプトのもと、ドイツ文学をはじめ、新聞や雑誌、絵本・児童書、映画DVD等約4500点を開架しています。ドイツ語の学習・試験教材も多数取り揃えています。和訳書や日本語の書籍もあります。作家の朗読会やワークショップなどのイベントも随時開催していますので、ホームページやSNS等をご覧ください。どなたでも無料で閲覧・貸出(要登録)がご利用いただけますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



- 所在地 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館 2F
- 開館時間 火-木 13:00~18:00 金・土 11:00~16:00
- 休館日 月曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始・その他
- <https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/bib.html>



「旅の図書館」TOPICS

当館の直近の様子をトピックスとしてお伝えします。

観光財源セミナー2023を開催しました

全国各地で注目が高まっている観光財源について、情報提供や議論を行い「観光財源セミナー2023」を7月25日に、当財団にて開催し、全国から自治体及びDMOの計13団体に参加いただき、盛況のうちに閉会いたしました。

セミナー内容として、「実効的な宿泊税制等の作り方」についてTMI総合法律事務所の池知弁護士、「旅先納税」におけるDMO財源インパクトについて(一社) 倶知安観光協会の鈴木事務局長に講演いただいた他、当財団から山田理事、江崎副主任研究員による講演を行いました。

当財団では「観光財源研究会」を開設しており、本セミナーは、同研究会活動の一環となります。今後も研究会活動として、更なる議論や実践を行ってまいります。



TMI総合法律事務所
弁護士 池知貴大氏

観光財源研究会：<https://www.jtb.or.jp/project/non-profit/network/zaigen/>



セミナー開催の様子

立命館アジア太平洋大学(APU) ～当館副館長が講演しました～

立命館アジア太平洋大学(大分県別府市)に新設されたサステナビリティ観光学部では、当財団の研究員(吉澤清良)が4月から常勤で教員を務めています。7月上旬、同教員が担当する科目「観光学入門」の第12回(観光と情報)において、当館の石田副館長が講演いたしました。学生の皆様からは、図書館の特性にとどまらず、観光においてはお客様へのホスピタリティや人との繋がり、そして何よりもポジティブな思考と常にアグレッシブに取り組む姿勢の重要性について理解が深まった等、多様な意見や感想をいただきました。



2023年度 第1回温泉まちづくり研究会を 開催しました

温泉地が抱える共通の課題を議論し解決の方向性を探り、それを広く発信することを目的として「2023年度 第1回温泉まちづくり研究会」を7月7日に開催しました。研究会には参加7温泉地の代表の皆様、大学等研究機関の皆様にも多数参加いただき、当財団より「2023年上期の観光動向」「2023年上期の観光動向と観光面から考えるタイの環境対策について」等が発表されました。また、温泉地の代表の皆様が「人手不足の状況と対策」等について報告を行い、それらを踏まえて活発な意見交換を行いました。温泉まちづくり研究会では今後も温泉地の抱える課題解決のため各温泉地の皆様と共に研究活動を行ってまいります。

温泉まちづくり研究会：
<https://www.jtb.or.jp/project/non-profit/network/onmachi/>



石川県立図書館 <百万石ビブリオバウム> 特別展 鉄道タイムトラベル 2024年春、いよいよ北陸新幹線県内全線開業!

石川県立図書館は、2022年7月にオープンした国内でも最新の公共図書館です。開架図書30万冊、200万冊収蔵可能な書庫、円形劇場のような吹き抜けの閲覧空間を有する閲覧エリアと多様な文化活動や交流活動が可能な文化交流エリアから構成されています。2023年6月～9月、特別展「鉄道タイムトラベル」が開催され、旅の図書館も蔵書である「旅」1964年6月号(能登特集)、1974年8月号(能登特集)を資料として展示協力させていただきました。



旅の図書館オススメの一冊!

最近刊行された図書の中から当館のおすすめをご紹介します。



1 信州に学ぶ地域イノベーション
長野県立大学グローバルマネジメント学部 編 中央経済社 2023年6月 239頁
個性的で多様な地域で構成されている信州には、イノベーションが数多く存在する。革新的な成果をあげている事例を掘り起こし、その分析から地方創生の鍵となるヒントを探る。地域活性化を実現した事例に学びたい。

2 解剖 京都力 ～5つの視点で探る強さの秘密～
読売新聞大阪本社経済部 編 淡交社 2023年6月 215頁
京都の企業や大学、寺社、老舗が持つ存在感や、内外の多くの人々を惹きつけるソフトパワーについて、「企業」「伝統産業」「大学」「宗教」「ソフトパワー」の5つの側面と有識者へのインタビューから読み解く。

3 フランスのウォーカブルシティ 歩きたくなる都市のデザイン
ヴァンソン 藤井由実 著 学芸出版社 2023年5月 270頁
フランスの街は今、歩く人や自転車で賑わい、劇的にウォーカブルに変わっている。歩行者空間の創出、自動車交通の抑制、自転車道・公共交通の整備、移動のDX等の方法論、制度・組織・実装の仕組みを事例で紹介する。

4 SmartCity5.0 持続可能な共助型都市経営の姿
海老原城一 中村彰二郎 著 インプレス 2023年7月 559頁
会津若松市のプロジェクトは東日本大震災の復興支援策としてスタートしたが、単なる「復興」ではない。データとデジタルテクノロジーの活用で地方創生を図る「SmartCity5.0」へ進化を遂げた要諦を紐解く。

5 なぜ豊岡は世界に注目されるのか
中貝宗治 著 集英社 2023年6月 270頁
「深さ」と「広がり」を基軸とする小さな世界都市豊岡には、多くのインバウンド客が訪れ世界と繋がる。元市長がグローバルな視点から、人口減少や産業の衰退に直面する全国の自治体にも応用可能なその取組みを綴る。

6 シン・JAPAN 外国人が次に絶対訪れたいニッポンの新地図帳
Amazing Japan Researchers 著 宝島社 2023年8月 111頁
コロナ禍も落ち着きははじめ、インバウンド客は急速に回復しつつある。インバウンド第二幕の今、訪日旅行者からなぜ日本が選ばれるのかを新たな視点から探る。外国人観光客の獲得・誘致に取り組む関係者にその戦略を提起する一冊。

7 観光が世界をつくる メディア・身体・リアリティの観光社会学
須藤廣 遠藤英樹 山口誠 ほか 編著 明石書店 2023年7月 291頁
「たかが観光、されど観光」。観光が作り上げるリアリティに関する論文集。二元論や予定調和の線形的論理では語りつくせない現代観光の複雑性、両義性を観光社会学の観点から、観光とは何かという核心に向かって15の事例に基づき掘り下げる。

8 有人宇宙学 宇宙移住のための3つのコアコンセプト
山敷康亮 編 京都大学学術出版会 2023年7月 348頁
地球に生まれた生命がいつか宇宙に進出するときが来た!閉鎖空間で人類を支える自然資本コアパイオームなど3つのコア概念に基づき、研究の最先端を紹介するとともに、宇宙観光の動向や日本独自の「宙ツーリズム」にも言及する。

この一冊が面白い!

倶知安町スキーの町宣言 50周年記念誌

倶知安町は2022年、「スキーの町宣言」から50年を迎えた。「スキーの町」について考えを深めてみたい。スキーができるということは、そこに山があって、雪があるということ。



祭りいこまい

尾張國三河國祭り写真紀行
～愛知を祭り県と呼ばずに、なんと呼ぶか～

故郷、愛知の祭りを多くの人を知り、多くの人愛し、多くの人を受け継ぐ、少しでもこの写真集がその役にたつことを願う

